

地方創生 樽商大生が提案 岩内でフォーラム

【岩内】岩内町地方創生フォーラムが岩内地方文化センターで開かれ、「地方創生・政策アイデアコンテスト2016」(内閣府主催)で岩内をテーマにして

全国2位となった小樽商科大学の大津晶准教授とゼミ生の4年生がアイデアを披露した。

北海道銀行などの主催で2日に行われ、町内の経営者ら82人が参加。ゼミ生は、雷電海岸のシーカヤックや岩内港での釣りなどのレジャー

岩内の現状を踏まえ、具体的な政策を提案した大津晶准教授(左から2人目)とゼミ生

ヤーを充実させてニセコの外国人客を岩内に誘致する観光振興策やニシンを加工した災害用非常食製造、海

洋深層水の宅配・輸出などの活性化策を紹介した。大津准教授は「岩内の問題は地方の普遍性のある問題。分析のフレームワークは応用できる」と述べた。中心メンバーで4年生の中田康子さんは「1年間、岩内の未来を作らなければと考え、全員でずっと議論してきた」と振り返った。



(安本浩之)